

歴史書／社会科学書／人文書
ご担当者様

〒475-0837 愛知県半田市有楽町7-148-1
TEL:0569-21-2130
Mail: book@ichiryusha.com

秦の始皇帝の末裔である秦氏が 我が国の京都を開発した

A5判・並製本／228頁／定価：770円(本体700円+税)

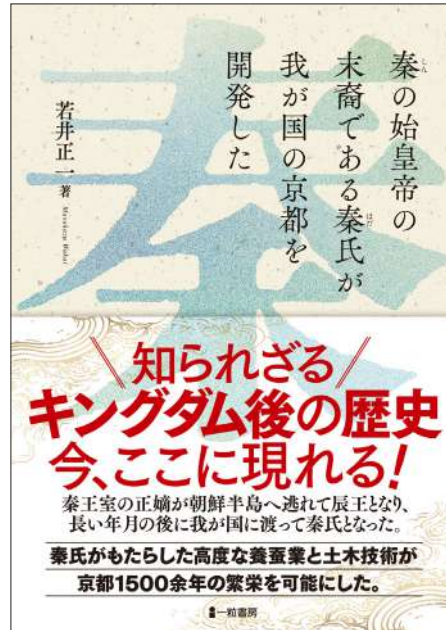
若井正一 [著]

渡来系氏族の雄である秦氏は秦の始皇帝の末裔である。ところが、今日の古代史アカデミーはそれを虚構と決めつける。それに対して本書はそれを史実と捉える。

始皇帝は世を去る直前に長男・扶蘇を後継者に指名した。ところが、奸臣がその遺言を握りつぶして偽の詔書を作成し、それを受け取った扶蘇は自ら命を絶った。やがて秦帝国は大混乱に陥り滅んでいった。その渦中で唯一亡命できた始皇帝の子孫が扶蘇の子である。朝鮮半島の馬韓の地に安住した彼は、そこで新たな秦国を建てた。それが「辰国」である。四世紀後半に馬韓は伯済国を中心に統一されて百済となった。居場所を失った「辰王」は我が国に渡来した。それが「弓月君」である。その後裔が秦氏である。

『日本書紀』等の史料は異彩を放った秦氏の面々を記す。本書は、これまで誤解されてきた、あるいは見逃されてきた彼らの足跡に新たな光を当てて、その真実を明らかにする。

- 雄略天皇に仕えた秦造酒は各地に分散していた秦氏を束ねることを許された。その称号が「太秦」である。彼はその初代である。
- 雄略天皇の崩御後、秦氏は大和から山背に移住した。そして、持ち前の土木技術を駆使して未開の地を豊かな大地に作り変えた。
- 継体天皇の皇子の一人に仕えた秦大津父はその即位実現に貢献した。それが欽明天皇である。大津父はその甲斐あって大きな富を築いた。そのことが後世において伏見稲荷大社の創建に繋がった。
- 蘇我氏に仕えた秦造河勝は東国に養蚕業を広めた。ところが、その絶頂期に乙巳の変が起こり、その運命は暗転した。そこで彼は京都盆地を後にして、今の大阪府寝屋川市に向かった。
- 天武天皇の時代に秦氏は復権した。その後、桓武天皇による長岡京遷都・平安京遷都において、秦氏はその卓越した土木技術を買われて新都建設の陰の立て役者となった。



【著者紹介】 若井正一（わかいまさかず）

昭和36年、東京生まれ 名古屋大学医学部卒業
医師、医学博士
全国邪馬台国連絡協議会理事

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行：一粒書房 TEL.0569-21-2130
			若井正一 [著] 秦の始皇帝の末裔である秦氏が 我が国の京都を開発した A5判・並製本／228頁 定価：770円(本体700円+税)
			冊 ISBN978-4-86743-451-2 C0021 ¥700E

ご注文は JRCへ → FAX.03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い